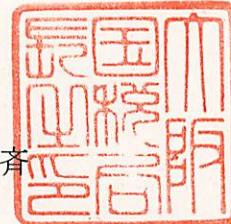


大局徵収(総)第5号  
令和6年1月23日

## 行政文書不開示決定通知書

林弘法律事務所

弁護士 山中 理司 様



大阪国税局長

堀内 齊

令和6年1月16日にされた行政文書の開示請求について、行政機関の保有する情報の公開に関する法律（平成11年法律第42号）第9条第2項の規定に基づき、下記のとおり、開示しないことと決定しましたので通知します。

記

行政文書の名称	破産管財人が破産会社の確定申告について税務署に相談した場合、確定申告のための資料がそろっていることを条件として、税務署が確定申告書を事実上作成した上で、破産管財人に破産会社の確定申告をさせて財団債権としての税金の支払をさせる場合の事務手続が書いてある、大阪国税局作成の文書（最新版）
不開示とした理由	開示請求に係る行政文書については、作成又は取得しておらず、保有していないため、不開示とします。
担当課	大阪国税局 総務課 情報公開窓口 電話 06-6941-5331（内線2860）

この決定に不服がある場合は、行政不服審査法の規定により、この決定があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内に国税庁長官に対して、審査請求をすることができます（なお、決定があったことを知った日の翌日から起算して3か月以内であっても、決定の日の翌日から起算して1年を経過した場合には審査請求をすることができなくなります。）。

また、この決定の取消しを求める訴訟を提起する場合は、行政事件訴訟法の規定により、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内に、国を被告として（訴訟において国を代表する者は法務大臣となります。）、処分の取消しの訴えを提起することができます（なお、決定があったことを知った日の翌日から起算して6か月以内であっても、決定の日の翌日から起算して1年を経過した場合には処分の取消しの訴えを提起することができなくなります。）。

# 送付文書

令和6年1月26日

林弘法律事務所  
弁護士 山中 理司 様

大阪国税局  
(官印省略)

下記のとおり送付します。 (担当) 総務部 総務課 情報公開・個人情報保護係

記

- 行政文書不開示決定通知書 1部
- 以下余白